

大阪府情報活用能力ステップシートの関連項目

D-STEP4 E-STEP4

《つきたい力》

本時の振り返りを通して自身の理解度（学習状況）を評価し、次に挑戦すべき課題を自ら選択して、自己調整しながら自学自習に取り組むことができる。

《ねらい》

授業で学んだ内容に継続して取り組むことで、学力の定着が期待できる。しかし、生徒の中には、授業が単発的でつながりがないという印象をもってしまうという課題がある。そこで、授業と家庭学習とを結び付けられるための仕掛けとして、振り返りに重点を置くこととした。

《教員の関わり》「価値づけ（きっかけづくり）」

授業と家庭学習がつながるように課題を授業の時間にさせたり見せたりすることで、全体のイメージを持たせ、「これぐらいならやろう」と思わせるようなきっかけをつくる。

《生徒の変容》

- 意図をもって振り返りやまとめシートを書く生徒が増えた。
- 振り返りを細かく分けることで、さらに詳細に振り返りを書くようになった。

《指導の流れ》授業の最後に振り返りを書く。
まとめシートに授業のポイントをもとめる。

○ 振り返りシート

授業での自分の学びや学習のつづきを具体的に記録することで、家庭学習へつなげる。

1 振り返りシート（授業後）				
振り返り項目	振り返り内容	振り返り結果	振り返りコメント	振り返り評価
1	授業で学んだ内容の振り返り	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。
2	授業で学んだ内容の振り返り	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。
3	授業で学んだ内容の振り返り	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。
4	授業で学んだ内容の振り返り	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。	授業で学んだ内容を振り返り、理解度を評価する。

○ まとめシート

授業のポイントを自分なりにまとめる。

ループリック評価を取り入れることで、生徒はねらいを持ってまとめている

- A 図や表、グラフや式などの表現を用いてまとめている
B 文章でのみまとめている
C 埋まっていない

振り返り ① 「できたこと」
② 「まだ分かっていないこと/できていないこと」
③ 「今日のつづきや次回の自分へのメッセージ」
① 表面と裏面の半分まで終わらせる。問題を1つは解く。
② 次の表面の半分まで終わらせる。問題を1つは解く。
③ オウズ3の3だよ！ 次の時間もがんばろう

2 どうやって計算する？			
多項式×多項式	多項式×多項式	多項式×多項式	多項式×多項式
6 因数分解と共通因数の意味	7 因数分解するときのコツは？	8 因数分解するときのコツは？	9 因数分解するときのコツは？
10 解くときに意識することは？	11 解くときに意識することは？	12 解くときに意識することは？	13 解くときに意識することは？

振り返りを書くことで自分の学びをメタ認知する。その日の続きや気持ちを記入することで、いつでも続きができる環境を整える。

授業者は設定した目標の核となる部分をテーマとする。生徒はループリック評価に基づいてまとめる。（アウトプットする。）

7 因数分解するときのコツは？
共通因数を最初に見つける！
「たして真ん中、かけて最後」
を！！
道具にインプットすること